

高円宮杯2015ホッケー日本リーグ 【男子】 第9節 第17日

開催日時 10月11日(日) 会場 日光市ホッケー場 天候 雨時々曇り

【全試合結果】

第1試合 13:20～

福井クラブ	2	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	0	東京農業大学
6勝 2分 5敗 勝点 20			勝点 10	3勝 1分 9敗

第2試合 15:00～

岐阜朝日クラブ	3	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	0	駿河台大学
6勝 0分 6敗 勝点 18			勝点 6	2勝 0分 9敗

第3試合 15:30～

名古屋フラーテル	9	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 3-0 \\ 2-0 \\ 3-0 \end{pmatrix}$	0	LIEBE栃木
11勝 1分 0敗 勝点 34			勝点 2	0勝 2分 10敗

第4試合 16:50～

小矢部RED OX	3	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 1-1 \\ 0-0 \\ 1-1 \end{pmatrix}$	2	法政大学
6勝 1分 6敗 勝点 19			勝点 4	1勝 1分 10敗

【各試合の結果・詳細】

第1試合

福井クラブ 2 $\begin{pmatrix} 0-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 0 東京農業大学

勝点 20 勝点 10

6 勝 2 分 5 敗 3 勝 1 分 9 敗

得点	福井→30分為国、47分為国		
戦評	<p>東農のセンターパスにより試合が開始された。一進一退の攻防が繰り広げられ、両者とも得点のないまま、0-0で第1Qが終了する。</p> <p>第2Qに入っても一進一退の攻防が続いたが、終了間際の30分、福井がPCを獲得すると、#2為国が確実に決め、1-0と福井リードで第2Qを折り返した。</p> <p>第3Qも両者とも得点のチャンスをつくりながらも決定打に欠け、1-0のまま第3Qが終了した。</p> <p>第4Q開始早々の47分、福井はPCを獲得すると、#2為国のシュートが決まり、2-0とリードを広げた。その後は両者とも得点が入らないまま福井が2-0で勝利し、勝点20とした。</p>		
テクニカルオフィサー	関根 由美子	アンパイア	穴井 猛司
ジャッジ	木村 正直・小林 宏至・倉地 智弥		児玉 茂樹

第2試合

岐阜朝日クラブ 3 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 1-0 \\ 0-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 0 駿河台大学

勝点 18 勝点 6

6 勝 0 分 6 敗 2 勝 0 分 9 敗

得点	岐阜→13分田中、28分辻、46分辻		
戦評	<p>岐阜のセンターパスにより試合が開始された。両チーム早々からスピーディーな試合を展開する。試合が動いたのは13分、岐阜#8田中のゴールで1-0とリードする。</p> <p>第2Qに入っても岐阜のペースで試合が進む。28分にPCを獲得すると、#10辻がタッチシュートで追加点をあげ、2-0で第2Qを折り返した。</p> <p>第3Qも岐阜のペースは変わらないが、駿河台もチャンスをつくり始め、次第にペースをつかむ。しかし、両者ともチャンスをものにできず、2-0のまま第3Qが終了する。</p> <p>第4Q開始直後、岐阜は46分、#20川畑が左サイドから切り込んでセンターリングし、#10辻がこれに合わせて、3-0と点差を広げた。その後、両者とも得点のないまま試合が終了し、3-0で岐阜が勝利した。岐阜は勝点18とした。</p>		
テクニカルオフィサー	竹内 芳郎	アンパイア	野澤 達
ジャッジ	藤井 峻・林 優介・鈴木 明美		木下 英貴

ホッケー日本リーグ機構

第3試合

名古屋フラーテル 9 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 LIEBE 栃木

勝点 34 勝点 2

11 勝 1 分 0 敗 0 勝 2 分 10 敗

得点	名古屋→13分長澤、20分川上、21分若林、27分井島、32分塩川、43分川上、48分藤本、49分橘、55分柳本		
戦評	名古屋のセンターパスにより試合が開始された。開始直後から、名古屋が速いプレッシャーで攻勢を仕掛ける。栃木は、GK#29塚田を中心に粘り強く守りを展開する。13分、名古屋はPCのチャンスに#14長澤のゴール左下へのシュートで先制し、第1Qは1-0の名古屋リードで終了した。 第2Qも名古屋の攻撃が続き、20分に#11川上、21分に#25若林が連続で得点をあげると、27分にも#18井島が追加点をあげ、4-0の名古屋リードで第2Qを折り返す。 第3Q開始早々の32分、名古屋#8塩川が得点すると、43分には、名古屋#11川上が追加点をあげ、6-0と点差を広げた。 第4Q、栃木は数少ないチャンスをつくるが得点につなげることはできない。名古屋は48分に#9藤本、49分に#17橘、55分に#23柳本が追加点を挙げ、9-0の大差で名古屋が勝利し、勝点34とした。		
テクニカルオフィサー	和田 千恵子	アンパイア	成田 健一
ジャッジ	福田 美由紀・羽田 康佑・藤井 智仁		押田 幸二

第4試合

小矢部RED OX 3 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \\ 1 & - & 1 \end{pmatrix}$ 2 法政大学

勝点 19 勝点 4

6 勝 1 分 6 敗 1 勝 1 分 10 敗

得点	小矢部→10分坪内、24分白樫、56分河合		
	法政→28分岸本、59分松本		
戦評	法政のセンターパスで試合が開始された。第1Qの10分、小矢部#19坪内が決めて先制する。その後は、両者とも決定機をつくれず、小矢部が1-0でリードして第1Qが終了する。 第2Q、19分、法政は連続してPCを獲得するが得点には繋がらない。一方、小矢部は24分、#8瀬島のリバーシットに#20白樫がタッチで合わせて、追加点をあげ2-0とした。粘る法政も28分、#21岸本がリバーシットで1点を返し、2-1の小矢部リードで第2Qを折り返す。 第3Qは両者一歩も譲らず、無得点のまま第3Qが終了する。 第4Q、56分、小矢部が右サイドの攻撃からPSを獲得すると、#6河合がゴール左上に冷静に決めて追加点をあげ、3-1と点差を広げた。試合終了間際の59分、法政は#8松本が得点し、一矢を報いるも小矢部が3-2で勝利し、試合が終了する。小矢部は勝点19とした。		
テクニカルオフィサー	駒田 文雄	アンパイア	近藤 聡史
ジャッジ	星 めぐみ・武部 直美・植木 涼太		渡邊 道彦